

タブレット  
端末で

全国に誇れる  
教育をめざして

タブレット端末から始まる「主体的な学び」  
～草津型アクティブ・ラーニング～ ※アクティブ・ラーニング…子どもの主体的・協働的な学習形態の総称  
一人一人の気付きを 共に考え みんなで深める

タブレット端末は  
どこでも使える  
操作が簡単  
手書きもできる  
送信できる  
交流できる

メリット

- 思考力、判断力、表現力の向上に役立つ
- 学習意欲、コミュニケーション力が高まる

今年度導入された、  
市内中学校での  
タブレット端末の活用の  
様子を紹介します



数学

▲電子黒板で、重要事項を確認しながら思考力を高める



家庭

▲包丁の使い方を動画撮影して、手元の細部を確認



音楽

▲タブレットで曲のイメージを入力して、交流することで表現力を育む



理科

▲実験を動画撮影して、変化の様子を見逃さない



保健  
体育

▲走り高跳びの様子を動画撮影して、踏み切りのタイミングなどを確認



国語

▲大事なところにタッチペンでマークをつけて、気付きを即座に共有



英語

▲辞書を片手に英語を入力しながら、交流して表現力を高める



社会

▲班ごとにタブレットを使って、意見交流をしながら協働学習を行う

先生たちも勉強 タブレット活用推進リーダー研修会

各校の特色を生かしながら、「学ぶ力」をさらに引き出すために、先生たちが効果的なタブレット端末の活用方法を学んでいます。



タブレット端末で  
新しい学びのスタイル



みんな楽しそうに  
勉強しているね



学び合いを大切に  
考えを深める

自分の考えを発表しながら話し合

タブレット端末と  
主体的・体験的な学び

学習の場面では、「何を学ぶか」

市では平成26年8月に、市内全小・中学校と小・中学校特別支援学級に約3200台のタブレット端末を整備し、運用を開始しました。

みんな楽しそうに勉強しているね

う授業をさらに活性化させるため、一人一人の考えの可視化や分類を瞬時に行うことができ、支援ソフトを導入するなど、主体的な学びが広がるよう工夫しています。

タブレット端末に入力すると、すぐにその内容が前面の電子黒板や全員の手元の画面に反映されます。意見や考えを共有することでコミュニケーションが円滑になり、授業の活性化につながっています。

児童生徒一人一人の気付きを大切にしつつ、グループなどでの学びを通して、考えを深めています。

学校間をつなぐ  
テレビ会議システム

「夢・未来を抱くスペシャル授業in草津」では、テレビ会議システムを使って、新堂中学校での講演を、松原中学校と常盤小学校でライブ配信しました。この学習で、本物に触れる貴重な機会を共有す

に加え、「どのように学ぶか」が重視されています。そこでは子どもの主体的・体験的な学習を通して、学びの質や深まりをめざす授業が展開されます。

今を生きる子どもたちには、従来からの基礎的な知識や技能に加えて、創造力や論理的・批判的思考力、コミュニケーション能力、情報（ICT）活用能力といった「21世紀型能力」とも呼ばれる資質やスキルを身に付けることが必要とされています。

タブレット端末を使うことで、新たな学びの創造や、個々の能力を高めることにも役立っています。

生徒の声

今まで授業で手を挙げて発表することが少なかったが、タブレットがあると、自分の意見をみんなに伝えられる

自分の意見に対して、友だちからプラスの評価を瞬時にもらえたり、コメントをもらえたりするのが嬉しい

みんなの考えや意見を知ることができるので、授業が分かりやすい



▲「ピリギル」著者・坪田信貴さんの講演を熱心に聞く生徒たち

ることができました。

近年、全国的に教育のICT化が進む中、市では「教育の充実」を重点施策の一つに掲げ、各種取り組みを積極的に推進しています。昨年5月に東京で開かれた「第6回教育ICTソリューションEXPO」の特別講演で、橋川渉市長が本市の教育ICT化の取り組みを全国に発信しました。その反響は大きく、その後全国から本市へ、多くの視察依頼があるなど注目されています。今回は、タブレット端末を使った授業の魅力を紹介いたします。※ICT：情報通信技術